

TVを観ていると...「こんにちは！今日は × 牧場に来ています。この牧場は東京ドーム 20 個分の大きさがあるんですよーっ！」という場面に出会ったりしませんか？



× 20 個

さて、その東京ドームは一体どれくらいの大きさなのでしょう？

建築面積(東京ドームの建物が建っている面積)は、4 万 6755m² です。(ちなみに、野球をするグラウンドだけだと、1 万 3000m²)

この広さ、大きすぎてよくわかりませんね！

そこで、この面積 4 万 6755m² を正方形になおしてみると、1 辺の長さが約 216m の正方形になります。

216m というとみんなが普通に歩いて(分速 70~80m)約 3 分かかる距離です。そんな 1 辺を持つ正方形を考えてみてください。(ひろ~いっ！)

また、この敷地を駐車場にして自動車をならべると(車は幅 1.8m × 長さ 4.5m として)、...

$46755 \div (1.8 \times 4.5) = 5772 \dots$ 約 5700 台の車をならべることができます。

もうひとつ。皆さんの学校にある 25m プールを(ちょっと穴を掘って)入れてみましょう。プールの幅は 15m で計算すると、 $46755 \div (25 \times 15) = 124 \dots$ 約 120 個のプールを入れることができます。(意外にせまい？)

広さの話をしましたが、容積についてもよく使われて、「ビールは、発売以来ご愛飲いただき東京ドーム 杯分を販売！」という表現がされます。

次に、東京ドームの容積について調べてみましょう。

東京ドームの容積(客席などの施設を除いた東京ドーム型の入れ物の大きさ)は、約 124 万 m³ です。

これは、立方体にしてみると、1 辺が約 107m の立方体になります。まだ、よくわかりませんか!?

では、この容積を 500ml のペットボトルにおきかえてみましょう...

東京ドーム型の容器いっぱいにはジュースがあったとすると、これは 1240000m³ 1240000000000cm³。

これを毎日ペットボトル 1 本分(500ml = 500cm³) ずつ 1 人が飲むとしましょう。

すると... $1240000000000 \div 500 = 2480000000$ (日) かかってしまいます!

1 年を 365 日とすると、 $2480000000 \div 365 = 6794520$(年) もうなんだかよくわかりません。

仕方ないので、1 人で飲むことはやめて、日本中の 1 億 2 千万人で飲むことにしてみましょう!

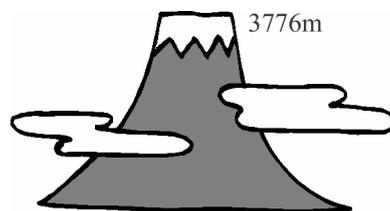
500ml のペットボトルで 2480000000 本できるので、これを 1 億 2 千万人に配ると、

$2480000000 \div 120000000 = 20.6$...(本)!

なんと、1 人に 20 本も配ることができてしまいます。



広さや量では東京ドームが使われますが、高さでいうとやはり富士山です。



平成 16 年度の国家予算は約 82 兆円だそうです。これは、1 万円札で 8200000000 枚になります。

お札は 100 枚で 1cm の厚さになるから、この国家予算を積み重ねると 82000000cm 820000m になり、富士山と比べると... $820000 \div 3776 = 217.1$...(倍) になります。

ちょっと話が大きいですね。

では、もうひとつ。

飛行機は地上の約 10000m 上空を飛ばそうです。

$10000 \div 3776 = 2.6$...(倍)

ですから、富士山を見たら、その上に富士山をもう 1 個半とちょっと乗せた高さのところを飛行機は飛んでいると考えることができますね!

